

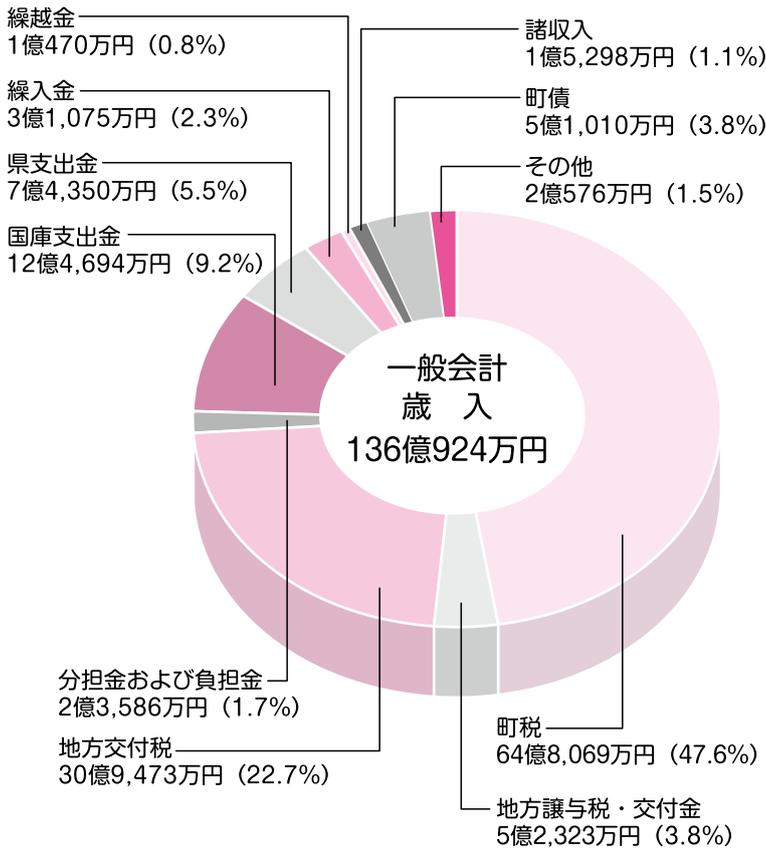
財政状況の公表

平成23年度 決算報告

平成23年度の一般会計と特別会計の決算が、9月定例議会で認定されました。一般会計の決算は歳入総額136億924万円（前年度比7.0%減）、歳出総額134億6,346万円（前年度比7.3%減）となりました。

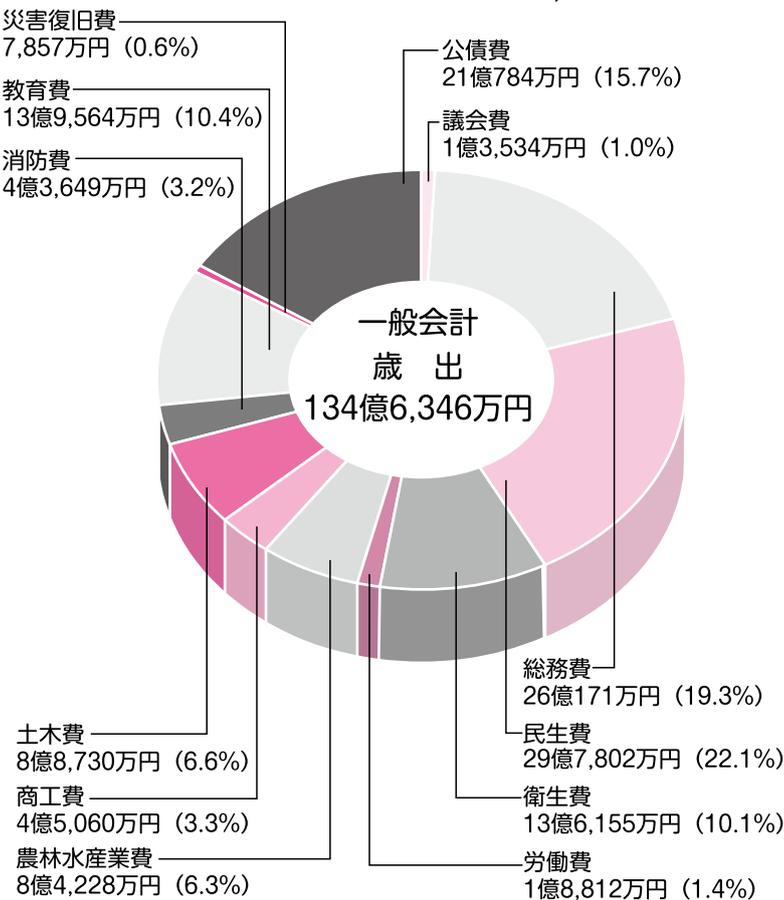
一般会計の歳入 136億924万円

（前年度比 10億2,020万円の減少）



一般会計の歳出 134億6,346万円

（前年度比 10億6,129万円の減少）



用語解説

- 町税…皆さんに納めて頂いた税金です。
- 地方譲与税…皆さんから頂いた国の税金の一部が一定の基準により町に譲与されるお金です。
- 地方交付税…国が徴収する税金の中から町の財政需要に応じて交付されるお金です。
- 分担金・負担金…町で行う特定の事業により特別の利益を受ける人から、その受益を限度として徴収するものです。例えば保育所の保育料などです。
- 国庫支出金…町が法令に基づき実施しなければならない事務や国と相互に利害関係のある事業などに対して、国が負担すべきものの総称です。負担金・補助金などがあります。
- 県支出金…特定の行政目的をもって、特定の事務・事業の全部または一部に充てるために県から支出されるお金です。
- 繰入金…他の会計や基金から収入として繰り入れる資金のことをいいます。
- 諸収入…特定の歳入のための科目ではなく他の収入科目に含まれない収入をまとめた科目です。
- 町債…大きな事業を行うために国や県、金融機関などからの借入金です。

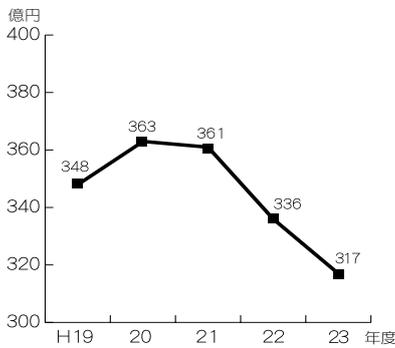
▶町の財産

土地	3,621,215㎡
建物	203,205㎡
基金	111億3,086万円 (うち一般会計 104億4,434万円)
有価証券・出資金	4億4,504万円

▶町の借りているお金(全会計)

区分	現在高
一般会計	133億6,414万円
特別会計	183億6,366万円
合計	317億2,780万円

▶町債(借入金残高)の状況(全会計)

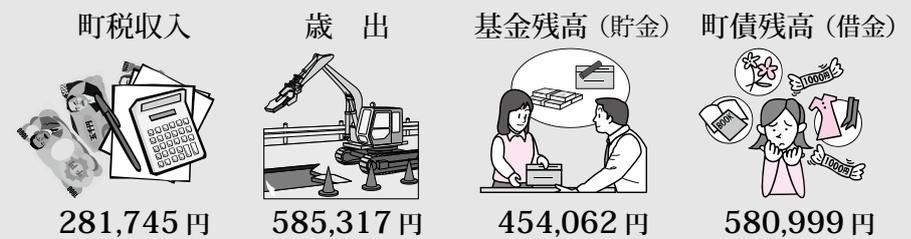


平成23年度 会計別決算状況

区分	歳入額	歳出額	差引額
一般会計	136億924万円	134億6,346万円	1億4,578万円
国民健康保険	27億7,600万円	27億7,007万円	593万円
後期高齢者医療	2億9,136万円	2億9,104万円	32万円
介護保険	24億7,085万円	24億3,427万円	3,658万円
農業集落排水事業	3億9,638万円	3億9,638万円	0円
公共下水道事業	9億5,018万円	9億4,824万円	194万円
地域し尿処理施設	4,228万円	4,228万円	0円
診療所事業	1億6,563万円	1億5,227万円	1,336万円
簡易水道事業	1,973万円	1,973万円	0円
ケーブルテレビ事業	3億5,062万円	3億5,062万円	0円
水道事業会計	収益的 6億3,332万円 資本的 1億819万円	5億7,573万円	5,759万円 △2億7,443万円
病院事業会計	収益的 10億4,459万円 資本的 1億2,947万円	11億4,791万円	△1億332万円 △1億611万円

一般会計 町民1人当たりの決算額

(平成24年3月31日現在の住民基本台帳人口23,002人)



■平成23年度に実施した主な事業

津波ハザードマップ作製事業

574万円



まちづくり交付金事業
(富来地頭町地区)

8,518万円



図書館改修事業

7,214万円



標高測量、標識設置事業

152万円



健全化判断比率および資金不足比率の公表

自治体の財政が健全かどうか判断するため、健全化判断比率および資金不足比率を公表することが義務付けられています。平成23年度決算に基づいて算定された志賀町の比率は、下表のとおり健全化基準を下回りました。赤字が生じない場合は「-」(該当なし)で表示しています。

実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率	資金不足比率※1
普通会計の赤字から財政運営の深刻度をみる比率 早期健全化基準 :13.37%~ 財政再生基準 :20%~	すべての会計の赤字から財政運営の深刻度をみる比率 早期健全化基準 :18.37%~ 財政再生基準 :35%~	借金の返済額などの大きさから資金繰りの危険度をみる比率 早期健全化基準 :25%~ 財政再生基準 :35%~	町の負債の残高から将来の財政への圧迫度をみる比率 早期健全化基準 :350%~	企業会計の資金不足割合から経営状況の深刻度をみる比率 経営健全化基準 :20%~
-	-	13.6%	43.8%	-

早期健全化基準 : 財政の危険状態
財政再生基準 : 財政の破たん状態

※1 水道、下水道、簡易水道、病院の各事業会計が対象

平成24年度

志賀町功労者表彰

志賀町表彰規程に基づき、地方自治・教育・文化・厚生に功労のあった4人が、11月3日（文化の日）に志賀町文化ホールで表彰されます。

みはら きゅうじ
三原 久次 さん（70歳） ー二所宮ー

自治功労



「長年、勤めることができたのは、消防団活動を理解してくれた家族、地域の皆さんのおかげで感謝しています」と話す三原さん。昭和48年6月に志賀町消防団に入団し、下甘田分団分団長、志賀町消防団副団長、団長を歴任し、平成20年3月までの34年10カ月にあたり、地域住民の生命や財産の保護に努め、消防組織の強化や後継者の育成など、志賀町消防団の発展に寄与しました。

三原さんは、団員の安全が最優先と考え、災害現場では「自分の安全を確保し、災害に立ち向かえ」と団長・分団長時に指揮しました。「今の消防団員は消防団として自覚を持って活動していて素晴らしい。これからも消防団を応援します」とエールを送ります。

かとう よしひろ
加藤 義博 さん（72歳） ー高浜町ー

厚生功労



昭和55年12月から31年10カ月にあたり、志賀町学校医として、児童生徒の健康管理と疾病予防に尽力しました。診療所嘱託医や介護認定審査会委員などを務め、地域の保健福祉、医療活動の推進に貢献する中、羽咋郡市医師会会長、石川県医師会副会長などを歴任し、地域医療の向上、発展に寄与しました。

介護保険制度については、制度がスタートしたときから関心が強く、介護認定審査会では公正公平な観点で進めてきたと自負する加藤さん。「私の体力が続くかぎり、高齢者が少しでも元気に過ごせるよう、町の健康のために、多少なりとも役にたてるよう微力を尽くします」と意欲を見せます。

おかだ つとむ
岡田 勉 さん（75歳） ー川尻ー

教育功労



学校は地域があって成り立ち、学校と地域のつながりをもっとも大事と考え、「学校は地域の顔で、その顔に教員として38年間務めさせてもらった」と話す岡田さん。児童生徒の教育に携わり、校長会会長、公民館運営委員、学校給食共同調理場運営委員などを歴任し、志賀町の教育分野の発展に尽力しました。また、平成13年12月から3年8カ月の間、志賀町教育委員を務め、地方教育行政の推進、社会教育、スポーツ文化の振興に貢献しました。

「思いもしなかった今回の受章は、支えてくれた皆さんのおかげで感謝しています。これからの志賀町に微力ながら協力し、発展を願うばかりです」と話しました。

おおの ぎょう
大野 堯 さん（73歳） ー西海風無ー

文化功労



加能作次郎の会会長として、現在までの12年間にわたり、作次郎文学賞を通じ、生徒の創作意欲の喚起や支援を行い、志賀町の文学活動の進展に努めました。

会長職を引き受けてから、加能作次郎の人柄と文学について勉強させてもらったことで加能作次郎が好きになったという大野さん。「今回の受章は作次郎さんのおかげ。一番感謝している」と話します。

加能作次郎作品集の発刊、作次郎ふるさと記念館の開設など、全国への文化発信に大きな貢献をした大野さんは「自分たちの気力が続く限り文学賞を続け、作次郎の作品をもう一度世に送り出し、世の中に知らしめたい」と意欲を見せます。

高浜町 (福井県) と

災害時等相互応援協定

志賀町・高浜町の都市間交流をさらに発展させ、災害時における物資や住民避難などの支援体制を築き、原子力災害や津波の自然災害時などに、お互いに可能な協力を行います。



▲協定書を取り交わした小泉町長と野瀬豊町長 (右から2人目)

9月27日(木)に福井県の高浜町と「災害時等相互応援協定」を結びました。調印式は、福井県の高浜町役場で行われ、小泉町長と高浜町の野瀬豊町長が両町議会議長の立ち会いのもと、協定書に署名、調印し協定書を交わしました。

大規模な風水害、地震などの自然

災害や、原発事故が発生した場合に、救助、救援、復旧など、避難所の提供や食料、資機材の提供、職員の派遣など、それぞれの要請に応じて、速やかに応援を行います。

姉妹都市である高浜町とは、今までにいろいろな分野で町民同士が交流を深め、信頼関係が築かれていること、お互いに原子力発電所の立地町で原子力防災資機材を持っていること、志賀町と高浜町は約250キロ離れていて、同じ災害で同時に被災する可能性が低いことを想定し、協力体制を整えました。

今回締結した協定と同様の協定は、今年2月に静岡県御前崎市、5月に白山市とも結んでいます。

小泉町長は「原発関連資機材をお互いに持っていることは、両町の住民にとって心強い。今後も交流を通じて、両町の絆をさらに深めていきたい」と話しました。

相互応援協定の内容

- ・食料、飲料水および生活必需品などの供給や資機材の提供
- ・救出、医療、防疫、施設などの応急復旧などに必要な物資や資機材の提供
- ・救援、救助活動に必要な車両の提供
- ・ごみ、し尿の処理に必要な車両のあっせん
- ・被災者を一時受け入れるための施設、住宅の提供やあっせん
- ・被災児童、生徒などの一時受け入れるための施設の提供やあっせん
- ・医療施設、介護施設などの入所者を一時受け入れるための施設の提供やあっせん
- ・救援、救助、応急復旧などに必要な職員の派遣

一 福井県高浜町 一

福井県の最西端に位置し、リアス式海岸がある内浦地区には原子力発電所が立地されています。町の西部にある青葉山は標高699mで、若狭富士と呼ばれています。

志賀町とは平成2年11月に姉妹都市提携を結んでいて、毎年交流事業を行い、親交を図っています。

SCHOOL IN The Forest

木 木

の が こ う

音とひとつ、つくるといふこと



2012 11 25

OPEN 10:00 CLOSE 18:00
at 熊野工芸工房 (旧熊野小学校)
石川県羽咋郡志賀町草木ヨの31

入場無料

WORK Shop

石で遊ぼう
ガラス細工
草木染め
貝細工
消しゴムはんこ
木工体験

PLAY

フリーペイント
楽器であそぼう

LIVE

TAHMII
佐藤ヒロキ
The tripmans
藤岩聡子
即興劇

SHOP

カラーセラピー
谷川醸造株式会社
日東電機船のでんきや
手作り石けん

DRINK

FOOD

かみやち食堂
なべ
サンライズ・ドーナツ
baby bread
かな chafe

お問い合わせ

中島石材店 石川県羽咋郡志賀町富来領家町レ部 1-1
phone/090-2093-1098 mail/photo-034-148@live.jp

担当 中島正士
協力：富来商工会青年部



くまっ子隊の読み聞かせには多くの人が聞き入りました



大好きなママを目指してハイハイ♪

第8回志賀町健康フェア

食育を通じて健康でいきいきと

9月30日(日)に保健福祉センターで第8回志賀町健康フェアが行われました。保健福祉センターに隣接する文化ホールでは、県立広島大学の加藤秀夫教授が食育をテーマに講演会が開かれ、身近にある物を使っての実験や、全員参加のクイズを行うといったユニークな講演会が行われました。

保健福祉センターでは、野菜クイズや食や健康に関するポスター展、販売コーナーなどで食を通じての健康について理解を深めました。約5メートルの直線コースをハイハイで早くゴールする赤ちゃんを競う赤ちゃんハイハイレースでは、6カ月から1歳4カ月までの乳幼児14人が出場。レースが始まるとお母さんから離れて泣いてしまう子や、ゴールと反対方向へ進む子などで、会場には笑いがおこっていました。

特設ステージでは、加藤病院の加藤理良先生によるバイオリン演奏や、くまっ子隊による絵本の読み聞かせ、ハンドベル演奏などを行い、観客は優しい音色に聴き入っていました。

すばる幼稚園で避難訓練

津波を想定し一時避難ビルへ

すばる幼稚園は9月25日(火)、津波を想定した避難訓練を行いました。

園児は防災頭巾をかぶり、年長児が年中児の手を引ながら、約450メートル離れた避難先である石川サンケン志賀工場の屋上を目指しました。川沿いや田んぼ道などを通り、避難経路を確認しながら屋上まで約13分かけて避難しました。訓練は、28日(金)にも行われました。

石川サンケン志賀工場は、海拔3m・高さは12mあり、津波発生時の一時避難ビルとして町が指定しています。



屋上へ避難するため階段を昇る園児

第32回志賀町学童新人相撲大会 団体戦で富来小BがV

9月30日(日)に土田小学校で志賀町学童新人相撲大会が行われました。町内8小学校の1年生から5年生までの約220人が出場し、たくさんの応援を背に、真剣に臨みました。

団体戦では富来小Bチーム(不動琉稀斗、今枝広太、落合優大)が優勝し、個人戦でも熱戦が繰り広げられました。



団体戦や個人戦で優勝した皆さん

赤い羽根共同募金運動

ガールスカウトが街頭募金活動

10月1日(月)に、ロッキー志賀の郷店とどんたく高浜店で赤い羽根共同募金運動が行われました。

街頭には、ガールスカウトのメンバーで町内の小学校に通う6人が参加し、募金への協力を呼びかけると、買い物客から次々と善意が寄せられました。善意を寄せてくれた人には、赤い羽根を胸元に取り付けボールペンをプレゼントしました。

募金箱は町内の公共施設約80カ所、12月末まで置かれ、集まった募金は、地域の福祉活動などに役立てられます。



募金を呼びかけるガールスカウト

第57回石川県女性県政会議 中能登地区



女性県政会議で谷本知事があいさつ

第57回石川県女性県政会議（中能登地区） 女性の視点から意見交換

石川県女性県政会議が富来活性化センターで開かれ、かほく市から七尾市まで6市町約390人の婦人会員が参加しました。会議は、地域の婦人会と知事ら県幹部が、県政に対するビジョンや課題について話し合うことで、男女共同参画の意識を高めるために毎年開かれています。

各市町からさまざまなテーマで研究発表があり、志賀町からは「規制緩和と高速ツアーバスの運行」について発表しました。

朝ごはんは一日の大切な活力源

朝ごはんを食べよう運動！

10月19日(金)に志賀高校で朝ごはんをたべよう運動が行われ、JA志賀女性部ら10人が生徒たちにおにぎりを配りました。

用意されたおにぎりは300個で、女性部の皆さんが校門に立ち、登校してきた生徒たちにつづつ配りました。朝ごはんをしっかりと食べて、健康で正しい生活習慣を身につけるように朝ごはんの重要性を生徒たちに伝えました。



おにぎりを受け取る志賀高生



砂をかき分けてさつまいもを掘り出す園児

RC（ロータリークラブ）芋ほり

収穫したさつまいも、被災地へ

10月20日(土)に、里本江の「みどり農園」で富来RC会員、富来RC少年塾、とぎ、ますほの両保育園児、グループホームすみよしの入所者、北陸電力、北國銀行の社員など、約60人でさつまいもを収穫しました。

収穫したさつまいもは、被災地の福島県郡山市にある富田幼稚園や室ノ木保育園、医療法人慈繁会付属ベップ託児所、郡山アーバンロータリークラブに送られます。

富来RC会長の葛城義広さんは「みんなが一生懸命に収穫したさつまいもを被災地の子どもたちに食べてもらいたい」と話しました。